

重点目標と具現策	1 他者とかかわる力と共生の心の育成 『やさしい子』の育成 (1) 豊かな体験や心に響く道德等、心を育てる教育活動を推進する。 (2) 家庭・学校・地域の方々に自ら進んで挨拶ができる児童を育成する。 (3) 言葉の力を大切にして、思いやりの心を育む人権・同和教育、特別支援教育を推進する。 (4) 特別活動を中心に個々の活躍の場を設定し、自己肯定感を高めるとともに互いに認め合い、支えあう仲間づくりを推進する。 2 体験活動の工夫と心身の健康増進 『たくましい子』の育成 (1) 家庭・地域と連携して、地域と一体になった生産活動や環境保全活動などの体験活動を推進しふるさとを愛する児童を育成する。 (2) 体力づくりや食育を推進し、健全な生活に必要な能力や態度を育成する。 (3) 豊かな集団活動（異学年交流活動等）を推進し、言葉の力を大切にして児童の問題解決能力を育成する。 (4) 小集団による清掃活動を充実させ、豊かな心の醸成を図る。 3 分かる授業の展開と学習習慣の形成 『進んで学ぶ子』の育成 (1) 学習規律を徹底するとともに、「聞く・話す・書く」を重視した基礎的な・基本的な内容の指導を徹底し、確かな学力を定着させる。 (2) できる喜び、分かる楽しさを味わわせる授業を推進するとともに、主体的に学ぶ家庭学習の充実に努める。 (3) 児童の主体性を引き出し、言葉の力を大切にして、言葉を用いて思考を深め、自分の考えを相手に伝える力を高める学習を展開する。 (4) ICT機器を効果的に活用するなど、多様な学習に努める。
学校運営上の留意点	1 人的管理 (1) 服務の厳正（体罰、いじめの撲滅等）、教育専門職としての使命感の自覚 (2) 危機管理意識・能力の高揚（防災教育等） (3) 報告・連絡・相談・見届けが機能する協働的な職場づくりと業務改善の推進 2 物的管理 (1) 全教職員による安全点検と早期修理 (2) 芝生をはじめ豊かな情操を育む教育環境の整備 (3) 備品・書類の整理、整頓と効果的な活用 3 事務管理 (1) 校務分掌の明確化と正確・迅速を基本とする事務処理 (2) ICT機器を活用した公文書、表簿等の適切な処理と情報の適正な管理 (3) 厳正な金銭の取り扱い、適正な会計監査
本校教育の特色と展開	本校区は、海岸から田園地帯を挟んで丘陵地まで、带状に広がっており、多様な自然環境を有する。保護者・地域住民の本校に対する思いや願いは熱く、学校教育には協力的で、保護者や地域と一体となつての活動が多い。 1 地域と一体となつて取り組む体験活動 地域の人・もの・文化等とのかかわりを通して、感謝の心、勤労の尊さ、郷土愛等、豊かな心を育成していくことに重点を置いている。芝生の運動場での活動やもちつき、織田ヶ浜の環境保全活動等を通して、体力の向上と豊かな心の育成に励んでいきたい。 2 福祉施設との交流 アルミ缶回収や1円玉募金で車椅子を購入し、校区の特別養護老人ホーム「みどりの郷」、正光会今治病院等の福祉施設に贈る活動を行っている。また、校区の福祉施設の訪問や施設の方との交流、福祉体験活動を通して、福祉教育の充実を図っている。 3 ボランティアの活用 婦人会、老人会等の地域の団体や個人の教育力を活用し、読書活動や郷土、栽培、環境、福祉、伝統行事などに関する地域に根ざした充実した学びを展開している。また、『富田総ぐるみこどもまもり隊』『富田えがお芝生隊』『読書ボランティア』等、地域ぐるみで結成している諸団体と連携して、児童の健全育成に取り組んでいる。 4 コミュニケーションを大切にした学校運営（働き方改革） 地域の方や保護者による学校支援体制や教職員間の信頼関係を深めることにより、充実感や満足感が生まれる学校の確立を図っている。